

県内の学校では、子どもたちと向き合う時間を確保するため、それぞれの実態に合わせた様々な働き方改革の取組が進められています。今月号では『働き方改革ワークショップ』の方法や様子をご紹介します。

働き方改革推進ワークショップの取組

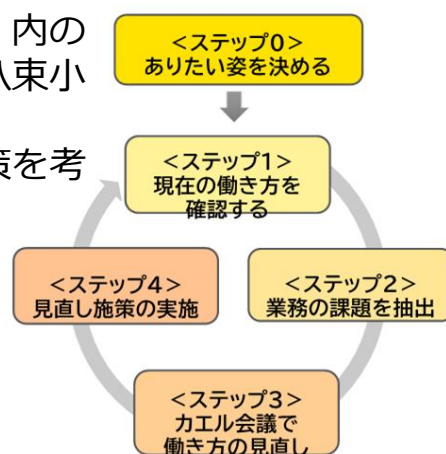
「学校における働き方改革推進モデル校事業」の一環として、教職員同士、あるいは地域や保護者の方々も交えながら、学校のありたい姿に向けて課題解決策を出し合う『働き方改革推進ワークショップ』を行いました。なお、ワークショップは、可能な限り多くの教職員で行うとより効果が高まります。

まず、学校の「ありたい姿」を設定・確認してから、なぜその姿になれていないのか、障壁（課題）を分析します。そして、その課題に対して「誰が」「いつまでに」「どのように」見直しを実行していくのか、明確にします。

- 【例】ありたい姿 : 子どもと向き合う時間をしっかり確保できる学校
障壁（課題） : 校務分掌が多くて空き時間が取れない
見直し施策 : ◆個人の業務をリスト化し、業務分担の偏りを見直す
 ◆道徳や総合などをチーム担当制にする
 （学年団3人で2クラスを担当し、1人は空き時間とする）
 ◆支援員さんや級外の先生に印刷業務等を手伝ってもらう
施策の実施 : ◆9月の運営委員会で検討し、次年度の業務分掌に反映させる
 ◆次の単元からチーム担当制を試行する。2単元終了後に効果検証し、続けるかやり方を変えるか決定する。
 ◆「印刷お願いBOX」と「依頼票」を作成し、9月から運用する

9月6日（日）午前7時～のRKC高知放送「おはようこうち」内の「ズームアップ高知」では、香美市立大宮小学校と四万十市立八束小学校で実施したワークショップの様子が放送されます。

それぞれの学校のありたい姿に向けて意見を出し合い、解決策を考えていく様子をぜひご覧ください。



働き方改革の先にあるのは、子どもたちの輝く笑顔です。先生方に心と時間のゆとりが生まれてこそ、子どもたちと丁寧に向き合う温かい時間が生まれます。

まずは「これならできそう」という身近な工夫から、みんなで一歩を踏み出してみませんか。



●働き方改革につながる実践例やアイデア等を募集しています。右のQRコードより情報提供をお願いします。→ →

発行：高知県教育委員会事務局教職員・福利課

電話：088-821-4901 E-Mail：310601@ken.pref.kochi.lg.jp

